



2015
紀の国 わかやま大会
躍動と歓喜、そして絆



発行責任者 第15回全国障害者スポーツ大会 愛知県選手団（総監督 森長研治）

2015 10 28 2:10

4時間弱の居眠り？からの目覚め
我としたことが不覚にも 眠りにおちてしまったのだ
一日の睡眠時間 0~2時間だった 和歌山県での生活
昨年その前も・・・そうだった
そうした日常生活は わたしにとって予定通りであるが
緊張感がなせることだが 異常でもある

実は 9時間ほど前に その前兆はあった
名古屋駅に帰着後 選手団の解団式が行われた
2時間ほどの時差で 先発 後発組に分かれて到着した選手団
それぞれに式は 行われた

私は 先発し 皆さんの家路への姿を見送ってから 駅前の喫茶で休息して
後発組を待ち 同様に皆さんを見送ってから帰宅の途に着いた
電車に乗ると直ぐに ウトウトとした
地元の駅に到着した瞬間 目が覚めた
間一髪で 乗り越しは回避 ホームに降り立ったのだ

そんなことが あった

無理をすれば その歪は 必ず訪れる
皆さんに 申し上げていることそのものだった
その日のうちに 更新する日記
その目標は あえなく不達成 不覚 しまった
でも 不思議と 嬉しい今の心境

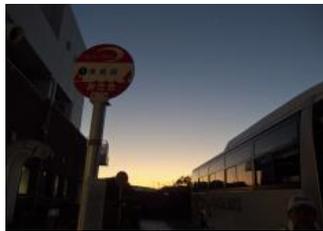
先ほどから 音を立てて突然に降りだした 雨
歪みの解消現象だ 私の居眠りと全く同じだ と思えて
日常の巡回「おでかけ」での言の 自ら体験
そう思った瞬間
日常に戻ったことを 実感した
居眠りからの目覚めだった



（ここからは 4時間弱前に残した日記となる）

「2015 紀の国わかやま大会」閉幕から一夜が明け
大阪府岬町 和歌山県和歌山市は 今朝も快晴

公式な気温がどのくらいかは分からないが
夏のように感じた日差しだった



5泊お世話になった岬町のホテル
外観が客船のような 一風変わった建物
あらためて 見た
今朝も 青空が似合う 白と赤だった

今まで 気がつかなかったが
それは「あいち」の象徴色 そのものだった

選手の皆さんと ボランティアの皆さんの
笑顔 涙が輝いて見えた

和歌山のみなさん ありがとう
皆さんの 笑顔が歓喜が そして涙が
私にとって 力の源でした

いつか 再び会える そんなことがあればいいなあ
素直に そう思え…………



和歌山駅から「特急くろしお」
新大阪駅で「東海道新幹線」に乗り換えて

程よい 疲れとともに 眠気を感じながら
「名古屋駅」のホームに降り立った



その瞬間 私の心身は 安堵感 で満ちた
これで 一年間に及んだ 一つの大きな旅を終える
そう思えた
改札口では ご家族や関係者 多くの皆さんの出迎え
みなさん ありがとう ございました

そして「チームあいち」
監督 コーチそして総務のみなさん
ほんとうに お疲れ様でした
素晴らしい スタッフと共にあったことに感謝します
ありがとうございました

とりわけ 選手 ご家族のみなさんには
今後 県内地域のスポーツ大会などでの再会

その時は 満面の笑顔で…………
楽しみにしています

愛知県選手団 総監督
森長研治(もりながけんじ)